

環境経営レポート

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

2022 年 5 月 31 日
広島県ビルメンテナンス協同組合

1 組織の概要（認証・登録の範囲）

(1) 事業者名および代表者氏名

広島県ビルメンテナンス協同組合
理事長 澤 田 英 治

(2) 所在地

〒733-0812 広島県広島市西区己斐本町二丁目 19 番 3 号
環境管理責任者 村 上 哲（次長）
連絡先 082-273-8271

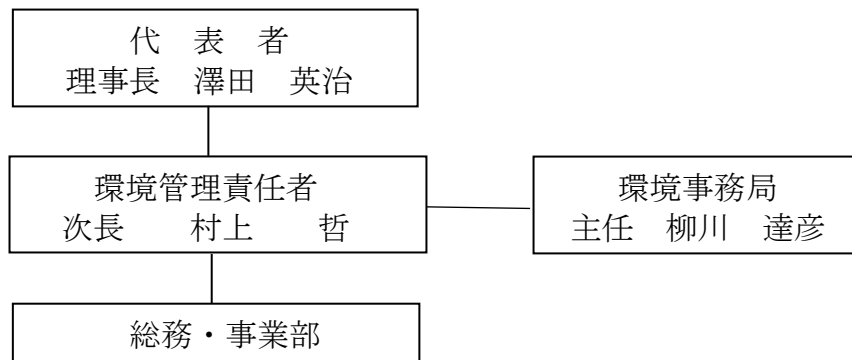
(3) 事業の概要

- ① ビルメンテナンス業務（官公需）の共同受注
- ② 指定管理者制度に基づく業務の共同受注
- ③ 事務用品等の共同購買
- ④ 一般廃棄物処理に係る事務代行
- ⑤ 組合員への教育及び情報提供

(4) 事業規模等

売上高 1,464 百万円
従業員数 9 人
床面積 369 m²

(5) 実施体制



役割・責任・権限

○代表者

- ・環境経営システムの統括
- ・経営における課題とチャンスの明確化
- ・環境経営方針の策定
- ・実施体制の構築
- ・全体の評価と見直し

○環境管理責任者

- ・環境経営システムの構築・運用
- ・上記状況の代表者への報告

○環境事務局

- ・環境管理責任者の補佐

○各部門長

- ・各部門に関連する環境経営計画の実行等環境経営システムの統括

○従業員

- ・環境経営方針や各自の役割を理解し、環境活動に取り組む

(6) 対象範囲

全組織・全活動

2. 環境方針

環 境 経 営 方 針

【環境経営理念】

当組合は、指定管理者制度による公共施設運営や施設維持管理を専門とする組合員企業の集合体であり、施設運営管理を通じて、施設の所有者や利用者とともに、地球温暖化問題への取り組みや循環型社会の形成に積極的に貢献してまいります。

そのために、事業活動のあらゆる面で環境負荷の低減を図るために、環境経営システムを構築・運用し、組合員・従業員が一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

【環境保全への行動指針】

1. 環境関連法規制や当組合が約束したことを守ります。
2. 具体的な取組として、次のことを推進します。
 - (1) 電力や化石燃料使用量削減による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物の削減と適正処理
 - (3) 節水の励行
 - (4) グリーン購入の推進
 - (5) 組合員への環境啓発活動

制定 2021年4月1日

広島県ビルメンテナンス協同組合

理事長 澤 田 英 治

3. 環境経営目標とその実績

(1) 環境経営目標

環境経営方針・環境への負荷の自己チェックの結果などを踏まえて「環境経営目標」を以下のとおり定めました。

項目		基準値 (基準年度)	2021 年度	2022 年度	2023 年度
排出量の削減 二酸化炭素	電力使用量の削減	8,532kg-CO2 (2013 年度)	△7% 7,935kg-CO2	△7% 7,935kg-CO2	△7% 7,935kg-CO2
	化石燃料使用量の削減	1,276kg-CO2 (2016 年度)	△7% 1,188kg-CO2	△7% 1,188kg-CO2	△7% 1,188kg-CO2
	合計	9,808kg-CO2	9,123kg-CO2	9,123kg-CO2	9,123kg-CO2
一般廃棄物の削減		755kg (2014 年度)	△6% 710kg	△6% 710kg	△6% 710kg
水道使用量の削減		84 m ³ (2013 年度)	△7% 78 m ³	△7% 78 m ³	△7% 78 m ³
グリーン購入の推進		3 品目 (2014 年度)	9 品目	9 品目	9 品目
組合員への環境啓発活動		3 回 (2014 年度)	3 回	3 回	3 回

※化学物質は使用していません。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力㈱の 2020 年度の調整後排出係数 0.521kg-CO2/kWh を、使用しています。

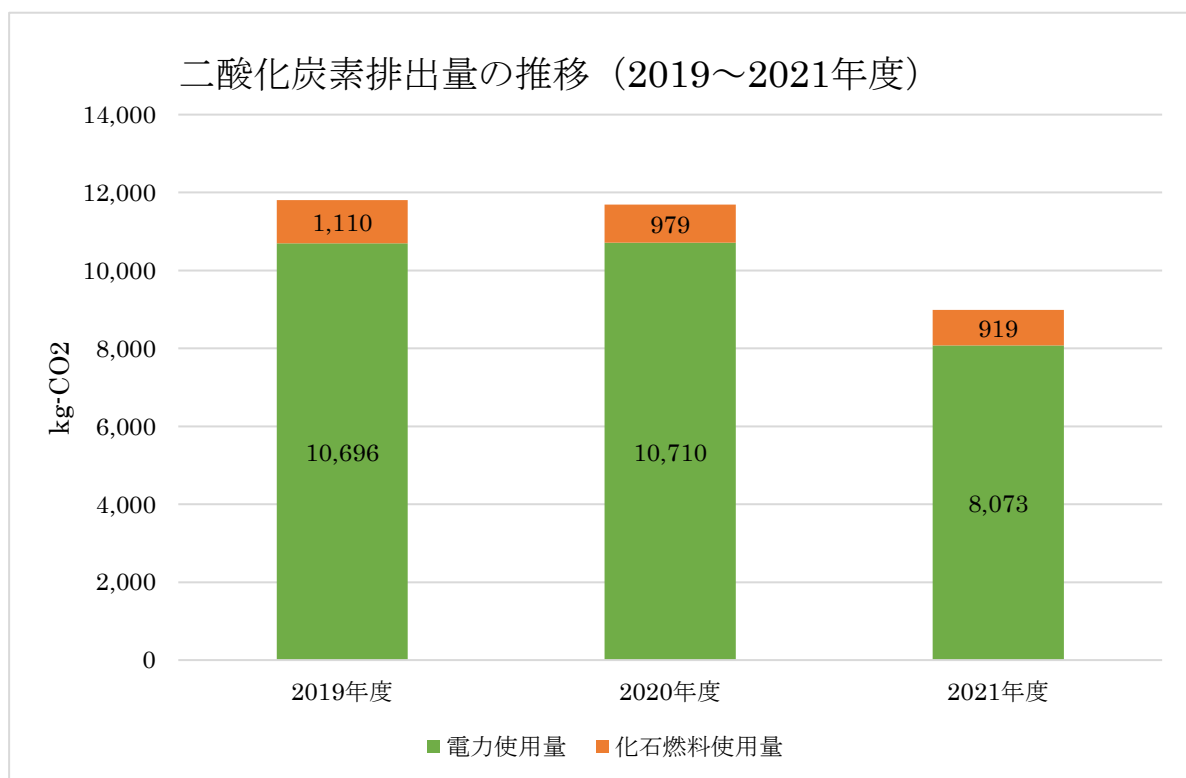
(2) 実績

①2021 年度の環境経営目標達成状況

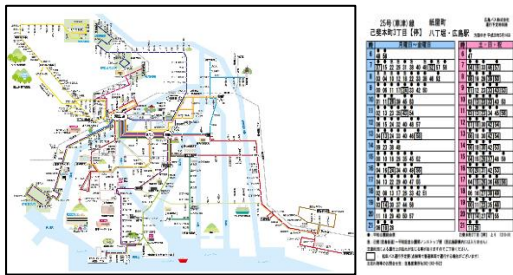
項目		目標値	実績	評価
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	7,935kg-CO2	8,073kg-CO2	×
	化石燃料使用量の削減	1,188kg-CO2	919kg-CO2	○
	合計	9,123kg-CO2	8,992kg-CO2	○
一般廃棄物の削減		710kg	705.2kg	○
水道使用量の削減		78 m ³	51 m ³	○
グリーン購入の推進		9 品目	9 品目	○
組合員への環境啓発活動		3 回	3 回	○

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力㈱の 2020 年度の調整後排出係数 0.521kg-CO2/kWh を、使用しています。

②過去 3 年度の二酸化炭素排出量の推移



4 環境経営計画の内容と取組結果の評価

取組内容	取組結果の評価
電力使用量の削減 ① 不要照明の消灯 ② 空調設定温度冷房 26 度以上、暖房 21 度以下 ③ 空調フィルターの清掃（年 2 回以上） ④ ブラインド等の利用で夏場の温度上昇を防ぐ ⑤ クール・ウォームビズ運動	今期累計で目標を達成できなかった。主に会議室や研修室の使用時にコロナ禍で窓を開けていたため、暖房の使用頻度が上がったと考えられる。 サーキュレーターを使用し暖房の設定温度を下げることで、節電に努める。
化石燃料使用量の削減 ① エコドライブの推進 ② アイドリングストップの実施 ③ 冷暖房の控えめ使用 ④ 不要な積荷を減らす	目標は達成した。 公共交通機関の路線図・時刻表を作成・配布し、公共交通機関を利用しやすい環境づくりとした効果が出ている。 (バス路線図) (時刻表) 
一般廃棄物の削減 ① 現状の把握（計量実績ないため、計量をする） ② 分別の徹底 ③ 両面コピー、裏紙の使用	目標は達成した。 計量することで、自然と一般廃棄物の削減意識が芽生え、両面コピーや裏紙を使用するようになった。

水道使用量の削減 ① 節水呼びかけ	目標は達成した。 全体的な使用量が少ない中においても、従業員ひとりひとりが節水を心掛けた結果が出ている。 (節水の呼びかけ) 
グリーン購入の推進 ① グリーン購入対象品目およびエコマーク対象品目購入の推進	目標は達成した。 積極的に購入した成果が出た。
組合員への環境啓発活動 ① 組合員への組合環境活動報告 ② 組合員への啓発	目標は達成した。 これまで組合が取り組んできた活動内容と成果を受けて、一部の組合員からエコアクション21の審査について相談があり、組合の実績に基づきアドバイスを行うなど、啓発活動が実施できた。

5 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規制は、廃棄物処理法、自動車リサイクル法、家電リサイクル法、フロン排出抑制法となります。

環境関連法規制等の逸脱はありません。

また、関係機関からの指摘や利害関係者からの訴訟もありません。

6 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

EMS は有効に機能しています。

環境目標のうち、電力使用量の削減について目標達成できませんでした。

次年度は、目標達成に向けた職場環境づくりを行い、今期達成できなかった目標の達成を図りたいと考えております。

7 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

電力使用量の削減については、サーキュレーターを使用し暖房の設定温度を下げることで、節電に努める。

すべての項目について、目標値は据え置きとし、目標を達成できるよう取り組みの徹底を図りたい。

詳細は、「3-1 環境経営目標とその実績」の2022年度目標のとおり。